

令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

NPO 法人高槻名誉市民を語り継ぐ会

I 事業の実施方針

今期はコロナ禍で活動が制限されるが、感染防止を行いながら例会を中心に活動を行った。特定非営利活動に係る事業については、高碓達之助顕彰を中心に講演による啓蒙活動を行った。高碓記念講演会に関しては今年も高碓達之助に学ぶ会と共催で実施でき、これからも継続的に開催する方針である。その他賢人の研究も並行して行った。これからの方向性として高槻にとどまらず賢人を中心に講演活動で特色を持つ会とする。

II 事業の実施に関する事項

① 高碓達之助の功績を顕彰・継承する事業

(1) 高碓記念講演会を行う。

【内 容】 第5回高碓達之助記念講演会

【実施日時】 令和4年2月20日（日）14:00～16:00

【実施場所】 ホテルアベスタグランデ高槻

【参加人数】 約130名

【実施内容】

高槻の名誉市民である高碓達之助を顕彰し、郷土高槻市の品格と誇りを持った風土づくりに貢献するため、コロナ禍に対し十分な配慮を行い開催した。

講演は流通科学大学の村上准教授が2月NHK歴史探偵「缶詰を見た」を中心に、如何に高碓翁が日中国交復興に尽力なされたのかなどが語られ、パネルディスカッションでは中井元東洋製罐GH社社長が偉大な起業家に関し、また胡甲南大学教授は日中における政治家高碓翁、森久敬会会員は電源開発総裁時の高碓翁の人情ある企業家など語られた。

内容的には学問的に偏るだけでなく、多方面からの高碓翁の分析を行い、参加者にも判り易く伝えることができ、郷土の偉人高碓達之助の功績を十分に伝えられた。

場内では高碓翁がアメリカから持ち帰ったマイヤーレモン（高つきレモン）の展示・販売も行い、さらに高碓翁を伝承することができた。

(2) 例会を開催する

コロナ禍で開催できる日においては十分な感染対策を行い、毎月第一週月曜日14:00～16:00で100%開催できた。今年度は高碓にとらわれず、高碓関係での講演も増えた。

【内 容】 例会（講演会）の開催

【実施日時】 令和3年4月～令和4年3月：14:00～16:00

【実施場所】 クロスパル会議室

【実施内容】

開催日	題目	発表者
4/5	「満洲引揚」の映像と武蔵正道	北村 正信
6/21	日本の水産業～大日本水産会会長～	甘田 外成
7/1	名言集読破1回目	
7/21	名言集読破2回目	
9/6	中国演劇について	瀬戸 宏
10/4	中国よもやま話	胡 金定
10/18	七福神の起源	森 秀雄
11/1	北摂と河内の古墳の考古学	大森 忠夫
11/15	LT 貿易	村上 友章
12/6	名言集読破3回目	
12/20	満洲引揚映像鑑賞	
1/17	防災と感染予防	菊池 廣司
2/7	北海道を守った将軍～樋口季一郎	北村 正信
2/21	石田梅岩	清水 正博
3/7	茨中博物教師と日本博物館	有明 京子

以上